

令和6年度栃木県衛生管理者協議会総会・研修会が開催されました。

本年7月26日(金)、栃木県建設産業会館において、県内主要企業100社の会員中65社(委任状を含む)出席の下、令和6年度定期総会及び研修会が開催されました。

総会では、奥田会長(独協医大)のあいさつに続き会長を議長として議事に移り、今年度の活動方針等提出議案が全て原案通り承認されました。

議事終了後、来賓の栃木労働局労働基準部健康安全課長補佐の齋藤様から祝辞に併せて、昨年度からスタートした第14次労働災害防止計画の計画達成に向けて県内で高止まりする労働災害の撲滅に向けて、栃木労働局独自の転倒災害防止運動「ころば Nice とちぎ」への協力要請がありました。

総会終了後の研修会では、本格施行された改正化学物質関連政省令への対応について、最重要課題である化学物質リスクアセスメントの実務担当者向けに、「化学物質リスクアセスメントの実務及び環境測定と管理濃度」と題して、栃木県産業保健総合支援センター相談員で、労働衛生コンサルタントの望月康広氏より2時間に亘り資料とスライドを基に、難しい内容をわかり易く和やかにご説明、ご講演いただきました。

研修会に集まった約60名の参加者は、各職場で化学物質管理者を兼務されるなど労働衛生管理を担っている責任者の方々ばかりであり、終始熱心に聴講されていました。

事務局では、今後も研修会の実施に当たって、時宜を得た内容を企画して実施して参りますので、新規会員のご紹介、情報提供を含め、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

なお、栃木県労働基準協会連合会のホームページ内に、栃木県衛生管理者協議会の情報サイトを設け、全国協議会ともリンクさせて、昨年度実施した「全国衛生管理者アンケート調査実施結果」を始め、活動状況報告や法改正資料等を掲載する等、情報提供を行っておりますのでご活用下さい。